

PK-WL009

無線 LAN USB ボックス E

スタートアップガイド


NEC

~~~~~

- ・ Microsoft、Windows、Windows NTおよびMS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Inc. (アドビシステムズ社) の登録商標です。その他の社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

~~~~~

目次

1	ご使用上の注意	4
1.1	本商品を取り扱う前に必ずお読みください。	4
	 無線 LAN 商品としての注意事項	9
2	添付品の確認	11
2.1	添付品	11
3	商品の登録	12
3.1	お客様登録申込書	12
3.2	商品の登録情報の確認	12
4	概要	13
4.1	PK-WL009 の使い方	13
4.2	ハードウェア仕様	15
4.3	各部名称と機能	16
4.4	PK-WL009 の導入フロー	17
5	使用条件	18
5.1	適用装置	18
6	取り付け	19
6.1	パソコンへの取り付け	19
6.2	パソコンからの取り外し	19
7	インストール	20
7.1	ドライバのインストール	20
7.1.1	Windows98/98Second Edition の場合	20
7.1.2	WindowsMe の場合	22
7.1.3	Windows2000 の場合	23
7.1.4	WindowsXP の場合	25
7.2	無線 LAN の設定	28
7.2.1	設定手順	28
7.2.2	設定手順 (WindowsXP の場合)	32
8	クライアント・マネージャ	34
8.1	クライアント・マネージャのインストール	34
8.2	機能	36

9	パソコンのネットワーク設定	38
10	確認	40
10.1	接続確認	40
11	アップデート	43
11.1	ドライバのアップデート	43
11.2	ファームウェアのアップデート	46
11.3	クライアント・マネージャのアップデート	47
	付録	48



1 ご使用上の注意

1.1 本商品を取り扱う前に必ずお読みください。




ここでは、注意を守っていただけない場合、けがや物的損害が起こることがある注意事項をまとめてありますので、よくお読みください。なお、この本には、本商品に関連したパソコンシステム全般に関する注意事項についても重複して記載しています。お読みになったあとは、いつでも参照できるところに保管してください。

この本では、商品を安全にお使いいただくために、次のマークを使用して説明しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的傷害のみの発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が予想される障害または事故の内容を表しています。

	注意を促すマークです。マークの中や近くに、想定される傷害や事故の内容を表しています。
	危険事項を示すマークです。マークの中や近くに、してはいけない事項の内容を表しています。
	しなければならない事項を示すマークです。マークの中や近くに、しなければならない事項の内容を表しています。



故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜く

煙が出ている・変なにおいがするなどの異常状態のまま使用したり、故障状態で使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源プラグを抜いてください。



すぐ修理依頼を

煙が出た場合は出なくなるのを確認し、販売店に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

上カバーは絶対にはずさない



分解禁止



感電注意

本商品の上カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分がありますので、感電の原因となります。



内部の点検・修理は販売店へ

内部の点検・調製・修理は販売店にご相談ください。

本商品に衝撃を与えない



電源プラグをコンセントから抜く

万一、本商品を落としたり、きょう体を破損した場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない



接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

本商品の上に水の入った容器を置かない



水物禁止

本商品の上に水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

万一、本商品の内部に水などが入った場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの取り扱いは大切に



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本商品の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまうことがあります。



電源コードの加工禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら販売店へ交換依頼を

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線等）販売店に交換をご依頼下さい。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水のかかるところには置かない



水場禁止

水場では使用しないでください。また、本商品の内部に水などが入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

不安定なところには置かない



不安定な設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れかけたりしてけがの原因となります。

表示以外の電圧で使用しない



100 ボルト以外使用禁止

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

本商品を改造しない



改造禁止

本商品を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

次のようなところは故障・事故の原因



禁止

油調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

屋外や、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

車載用など移動用途には使用できません。

故障の原因となることがあります。

次のようなことはけがの原因



落下して危険

本商品の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品にのらないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

電源コード・電源プラグについて



禁止

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手は危険

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



しっかり差し込んで抜けかかり禁止

電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと、火災・感電の原因となることがあります。



移動するときは接続線はずしてから

移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線はずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。



長期間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れについて



お手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。詳細は次ページ「お手入れについて」をご覧ください。

無線 LAN 商品としての注意事項

- ・本機の内部を改造して運用することは法律で禁止されています。

電波に関する注意

本商品には、2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本商品は、2.4GHz帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避できます。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2 . 4 D S 4

本商品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので、絶対に行わないでください。

本商品の電波出力は、社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を遥かに下回っています。しかしながら、本商品の通常のご使用に際しては、万が一でも人体に影響を及ぼさないよう、人体との直接的な接触を最小限にした使い方をお勧めします。

本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯域を変更するかまたは電波の発射を停止してください。
3. その他、本商品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NEC パソコンインフォメーションセンターまでご相談ください。

NEC パソコンインフォメーションセンター

（フリーダイヤル）0120-95-0001

自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本商品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因となる恐れがあります。一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本商品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本商品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。

1. 本商品と影響を受けている装置の距離を離してください。
2. 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本商品の電力を供給してください。
3. 経験のある電話機やテレビ、ラジオの技術者にご相談ください。

トラック無線（CB 無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。

他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。さらに前記処置を行っても影響が軽減されないときは、NEC パソコンインフォメーションセンターまでご相談ください。

電子レンジなど、本商品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更する、干渉オプションをセッティングするなど、混信回避のための処置を行ってください。さらに前記処置を行っても影響が軽減されないときは、NEC パソコンインフォメーションセンターまでご相談ください。

本商品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信容量が異なります。

本商品は、ネットワークネーム（SSID）を設定することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止できます。

本商品は、暗号キーを設定することにより、無線区間での漏洩・傍受を防止できます。

本商品は、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。本商品は、MAC アドレスに用いたJATE フィルタリング機能を持ちます。

技術基準等適合認定について

本商品は、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。認証番号は以下の通りです。

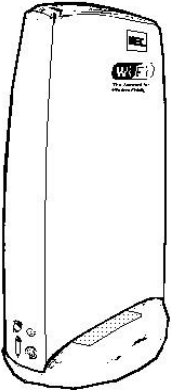

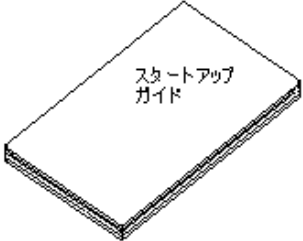

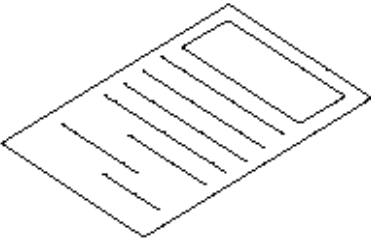
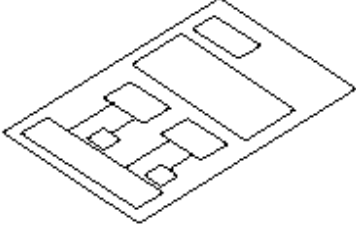
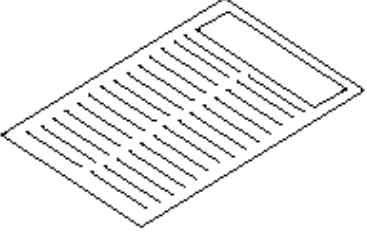
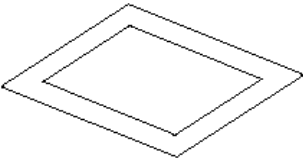
認証番号 D00 - 1057JP

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

2 添付品の確認

2.1 添付品

梱包内容を確認してください。

<p>1</p>  <p>無線 LAN(11Mbps)USB ホックス E</p>	<p>2</p>  <p>USB ケーブル</p>
<p>3</p>  <p>スタートアップ ガイド</p> <p>スタートアップガイド (本書)</p>	<p>4</p>  <p>CD - ROM</p>
<p>5</p>  <p>保証書</p>	<p>6</p>  <p>お客様登録申込書</p>
<p>7</p>  <p>ソフトウェアのご使用条件</p>	<p>8</p>  <p>本商品使用上の注意シール</p>

3 商品の登録

3.1 お客様登録申込書

お客様へのサポートおよびサービスを充実させるためにお客様登録をお願い致します。ご登録いただきますとNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」およびダイレクトメールにて、ご登録いただいた商品に関するバージョンアップ情報やサービス、お買い得情報などお客様1人1人にあわせた最新情報をご覧いただけます。是非ご登録のうえ、便利で役立つ「121ware.com」をご利用ください。

3.2 商品の登録情報の確認

インストール作業に入る前に、インストールするコンポーネントについて、下記の情報を控えておいてください。

PK-WL009 の製造番号とMACアドレス

これらの番号は、アクセスポイントに接続する場合に登録する必要があります。

4 概要

4.1 PK-WL009 の使い方

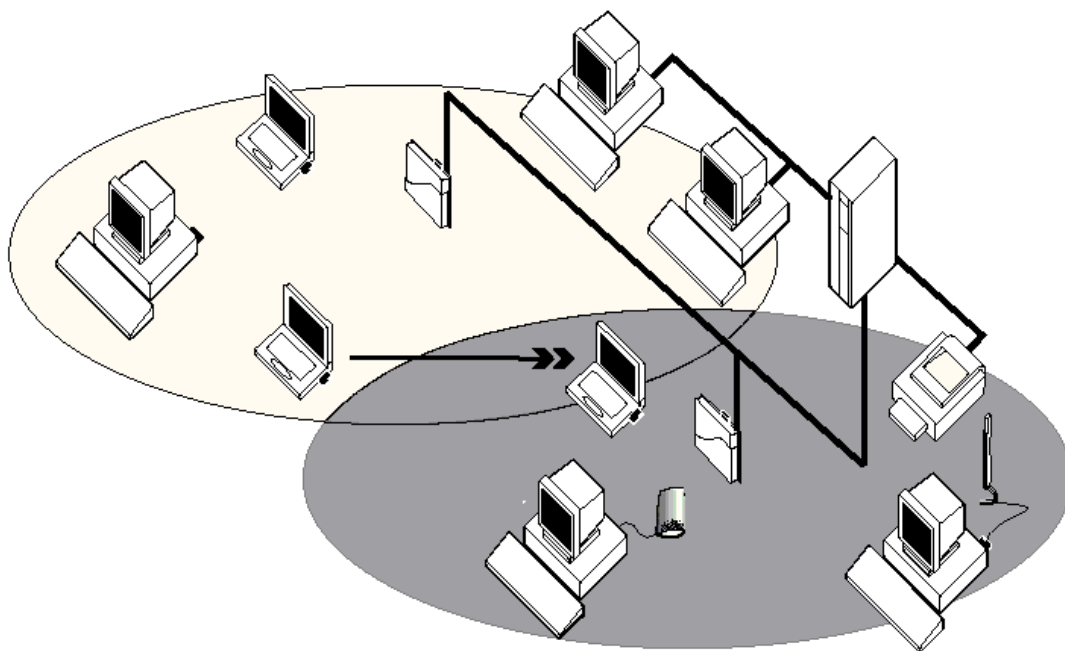
オフィスの無線LANネットワーク、SOHO/家庭内無線LANまたはパソコン同士のピアツーピアへの接続の使い分けが可能です。

オフィスのインフラストラクチャーへの接続

アクセスポイント（PK-WL003 または PK-WL005, PK-WL007）を使用したオフィスなどのインフラストラクチャーに接続できます。

ネットワークケーブルがないためレイアウト変更や移動においても配線工事の必要がなくスムーズに行えます。また、美観を損なうこともありません。

本商品は従来のWEP40ビットに加え128ビットの暗号化をサポートしていますので、安心して使用できます。

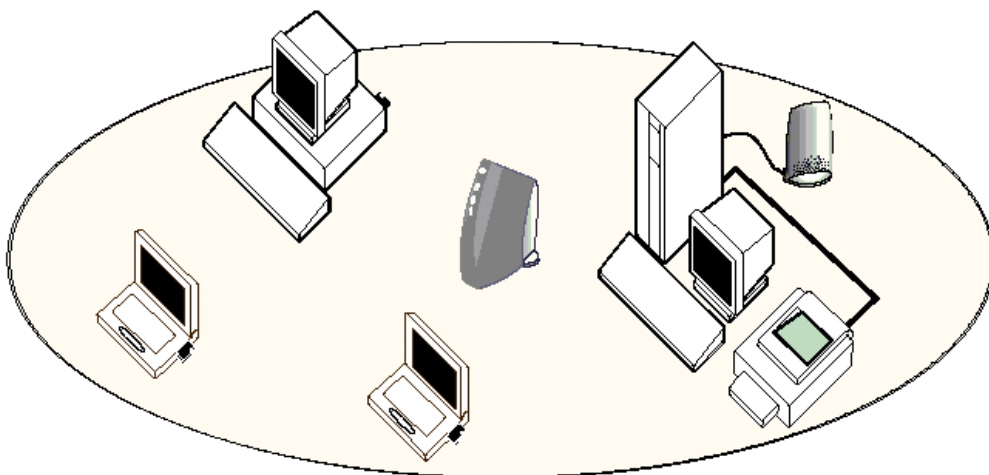


オフィス用アクセスポイントは以下の商品があります。

- PK-WL003：無線LANアクセスポイントN
- PK-WL005：無線LANアクセスポイントE
- PK-WL007：無線LANアクセスポイントS

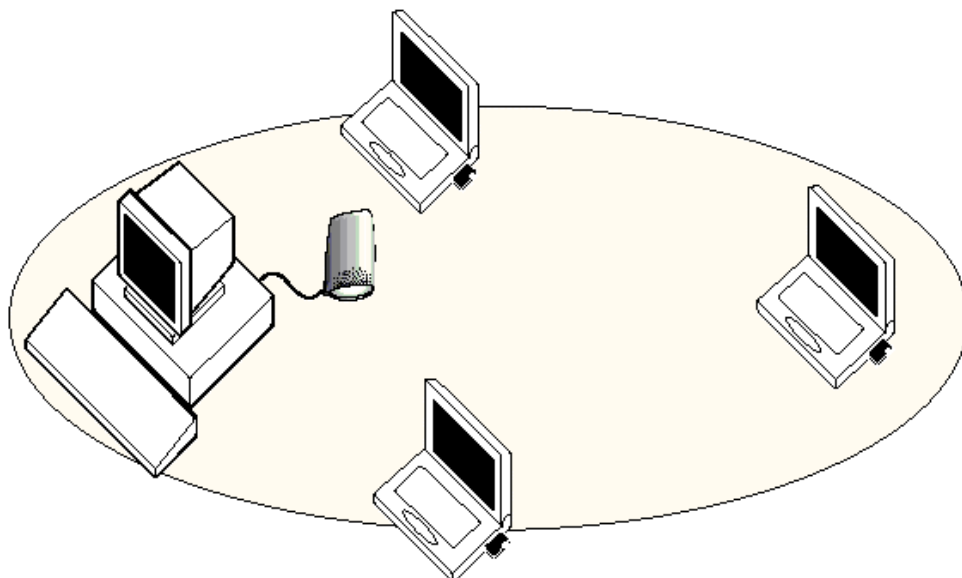
SOHO / 家庭用アクセスポイント

家庭用アクセスポイント（PK-WL002）で構成された家庭内ネットワークへ接続できます。ファイルやプリンタなどの共有もできます。



ピアツーピア接続

本商品または無線 LAN カード E シリーズ（PK-WL006x シリーズ）を搭載したパソコン同士の直接通信ができます。ピアツーピア接続を使用することにより「家庭」や「会議室」などで簡単にネットワークを構成することができます。

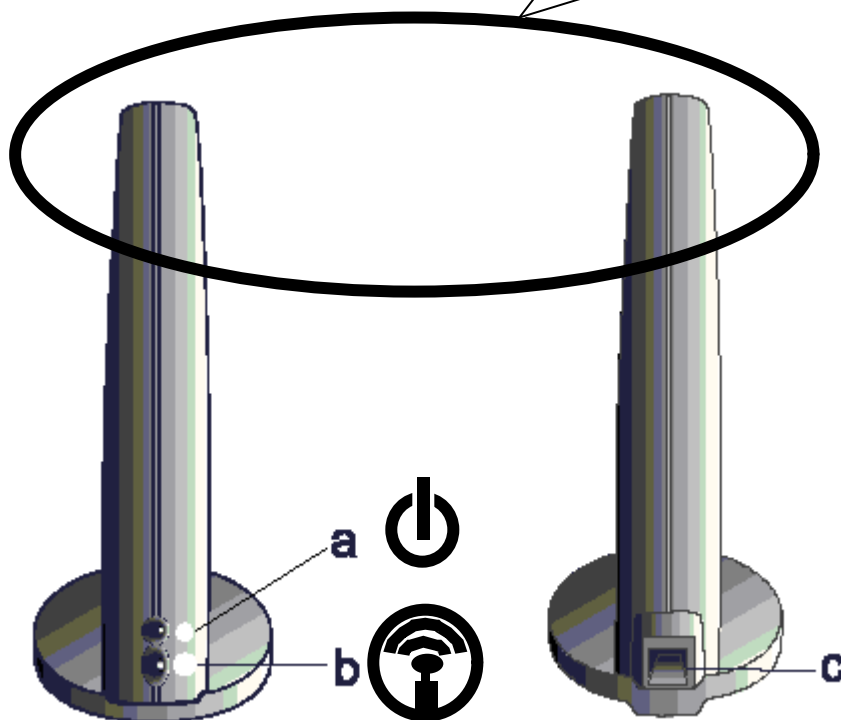


4.2ハードウェア仕様

インタフェース	USB (ユニバーサルシリアルバス) 1.1 バスパワー・USB機器
データ転送速度	11M/5.5M/2M/1M (bps) [自動切替]
準拠規格	ARIB STD- T66 (高度化小電力データ通信システム規格) IEEE802.11b (無線LAN標準プロトコル)
伝送方式	DS-SS方式 (IEEE802.11準拠)
伝送距離	屋内50m / 屋外100m (最大) [見通し] 屋内25m / 屋外50m (11Mbps時) [見通し] 注) 伝送距離は周囲条件によって異なります
使用無線チャンネル	1 ~ 11ch [自動設定]
R - F 周波数帯域	2.4GHz 帯域 (2400MHz ~ 2483.5MHz)
動作電圧	5V
消費電力	最大500mA
温湿度条件	温度 : 10 ~ 35 湿度 : 20 ~ 80 % (結露しないこと)
外形寸法	約90 (D) × 約61 (W) × 約146 (H)mm
質量	約 190g

4.3 各部名称と機能

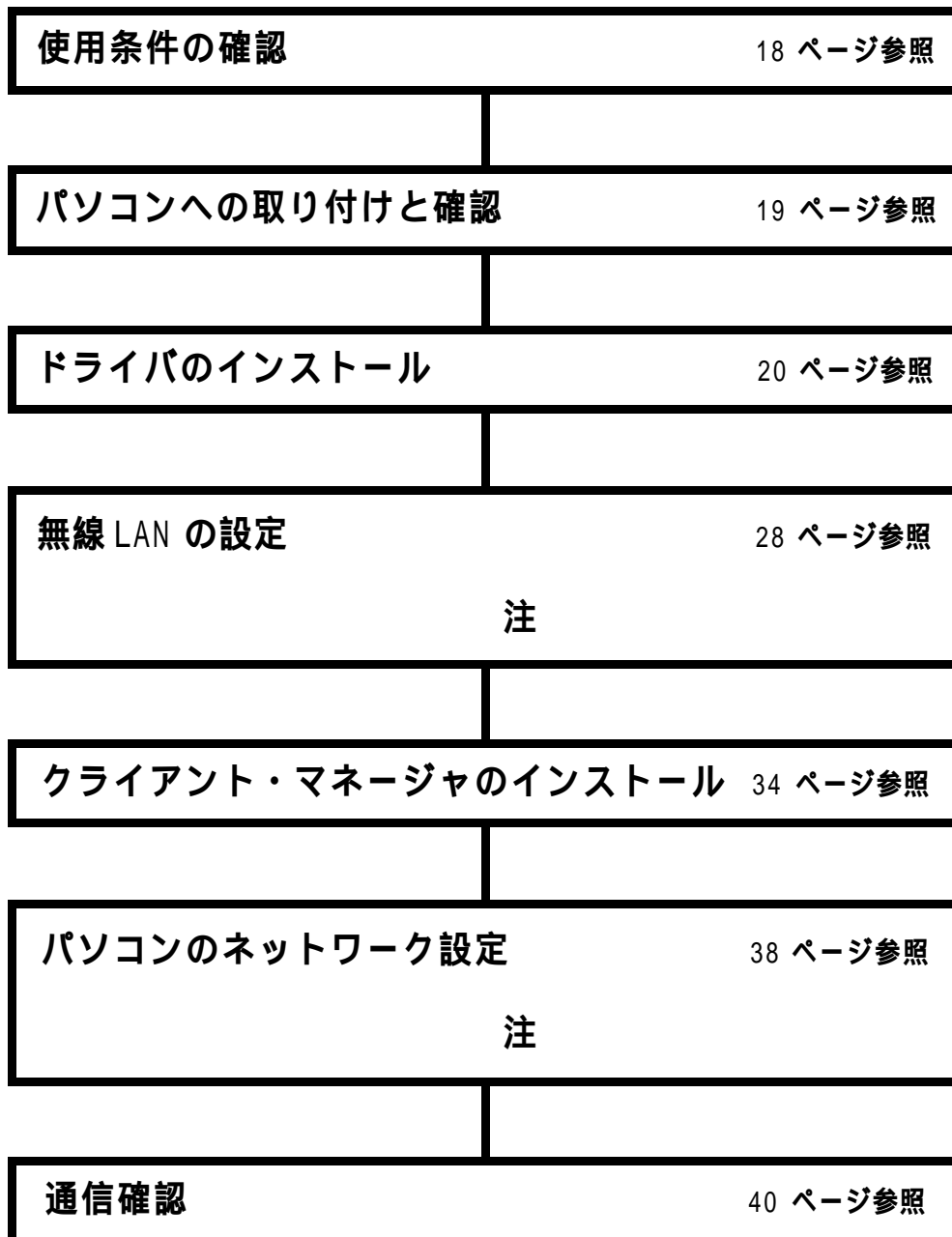
アンテナは本体の上部に内蔵されています。
この付近に電波を遮蔽する金属などのものを近づけないでください。
通信の妨げになる場合があります。



記号	名称	機能
a	Power LED	本体に電源が投入されると緑色に点灯します
b	Tx/Rx LED	データの送信または受信がある時に点滅します。 無線が無効であるときは点灯しません。
c	USB コネクタ	付属の USB ケーブルを挿入します。

4.4 PK-WL009 の導入フロー

本商品を導入する際の手順を示しております。このフローにしたがって設定してください。



注 本製品をネットワークに接続するために必要な設定。

“無線 LAN の設定” およびネットワークの設定を行う必要があります。

6 取り付け

6.1 パソコンへの取り付け

パソコンの電源が切れていることを確認します。

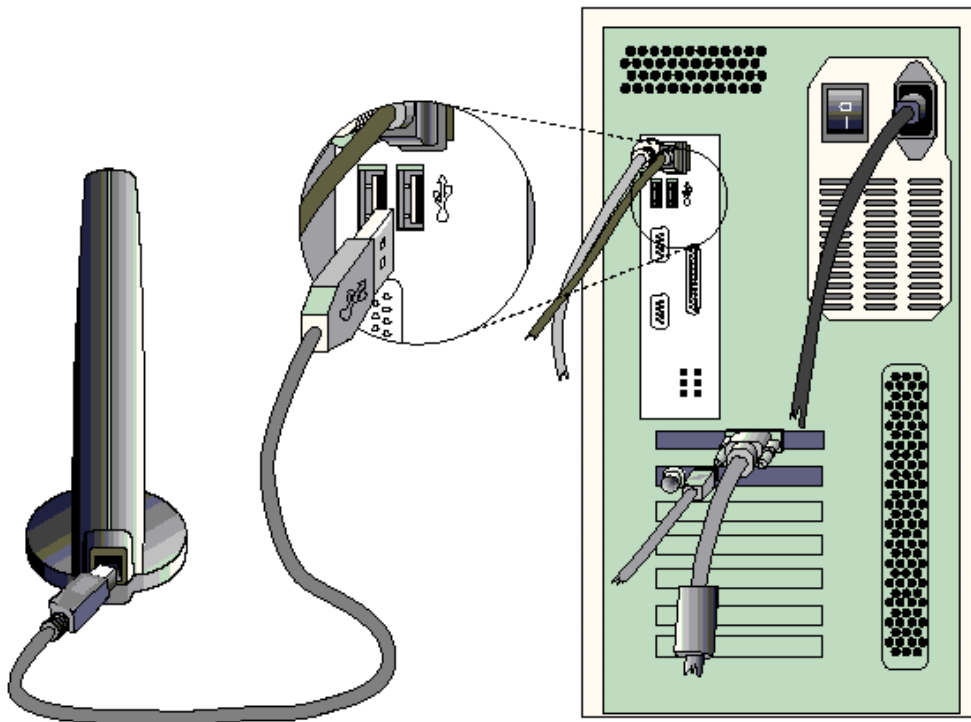
本商品の USB コネクタに、添付されている USB ケーブルを接続します。

パソコン本体の USB ポートを確認し、USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続します。

USB ポートにはこのようなマークが表示されています。



USB ポートが 2 つ以上ある場合、空いているポートに接続してください。但し、USB ハブでは使用できない場合があります。



6.2 パソコンからの取り外し

パソコンの電源が切れていることを確認します。

パソコンに接続されている USB ケーブルを抜きます。

7 インストール

本商品はネットワークデバイスです。ネットワークに接続するためには無線LANとネットワークの設定が必要です。

7.1 ドライバのインストール

次の手順でドライバのインストールを行います。インストール手順はご使用のOSにより異なりますので、ご使用のOSを確認してから行ってください。

また、インストールの途中でWindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますのでご用意ください。

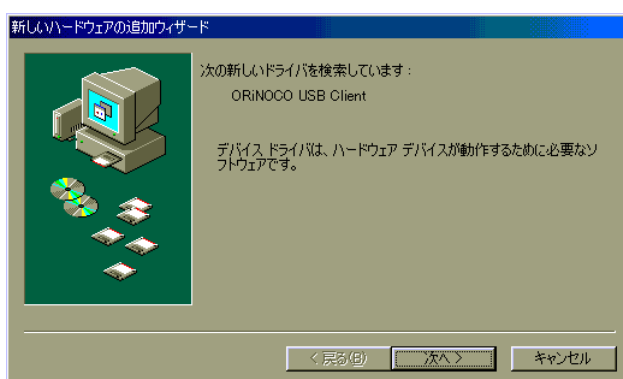
< 注意 >

お使いのパソコンに「ワンタッチスタートボタン」が常駐している場合などパソコンへの各種アプリケーションのインストール状態によっては、ドライバインストールに数分待たされる場合があります。ドライバインストール時は「ワンタッチスタートボタン」や各種アプリケーションが常駐していない状態で行うことをお勧めいたします。

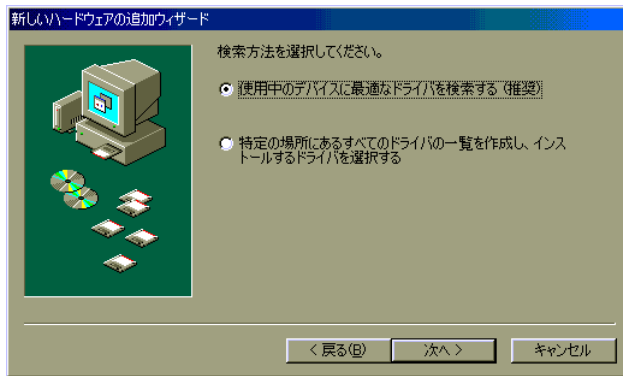
7.1.1 Windows98/98Second Edition の場合

パソコンの電源を入れます。

電源を入れてからしばらくすると次のような画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



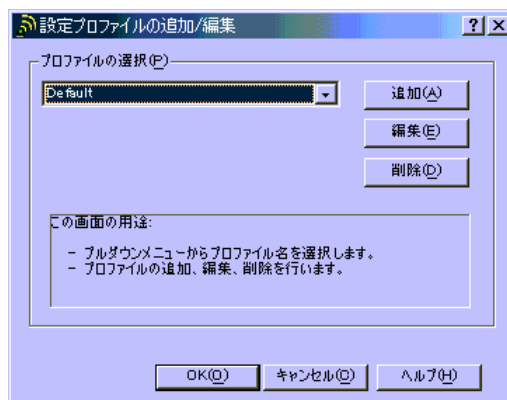
次の画面が表示されたら本商品に添付されているCD-ROMをパソコンに入れ、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」をチェックし、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら「検索場所の指定」のみを選択しドライバのあるディレクトリ：「CDドライブ名:¥PK-WL009¥Drivers ¥Win_98」を指定し、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら、「編集」をクリックして無線 LAN の設定を行います。設定を行うとこの画面に戻りますので「OK」をクリックします。設定については次項の「7.2 無線 LAN の設定」を参照してください。



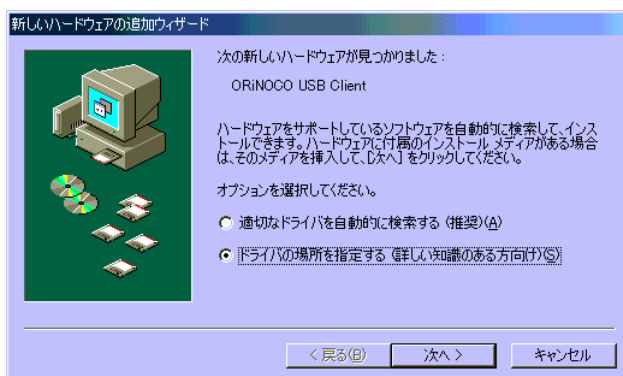
インストール終了の画面が表示されたら「完了」をクリックします。

再起動の画面が表示されたら「はい」をクリックし、パソコンの再起動をします。

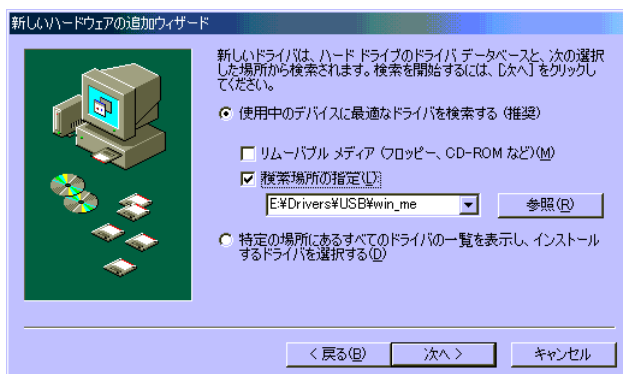
7.1.2 WindowsMe の場合

パソコンの電源を入れます。

電源を入れてからしばらくすると次のような画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」をチェックして「次へ」をクリックします。



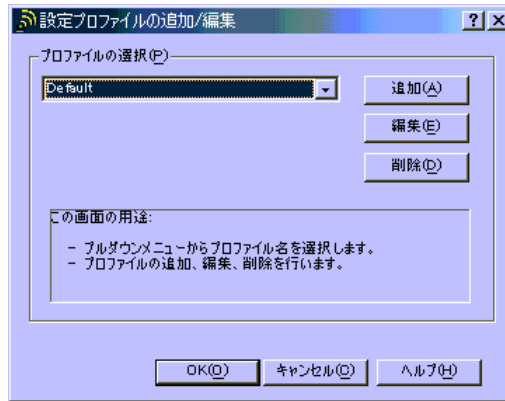
次の画面が表示されたら本商品に添付されている CD - ROM をパソコンに入れ、「参照」でドライバのあるディレクトリ:「CD ドライブ名:¥PK-WL009¥Drivers ¥ Win_Me」を指定、または直接入力し「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら、「編集」をクリックして無線 LAN の設定を行います。設定を行うとこの画面に戻りますので「OK」をクリックします。設定については次項の「7.2 無線 LAN の設定」を参照してください。



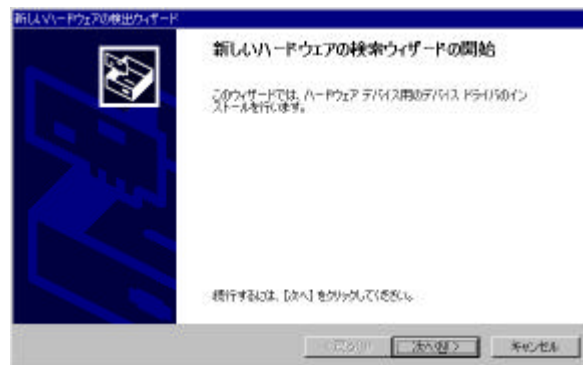
インストール終了の画面が表示されたら「完了」をクリックします

再起動の画面が表示されたら「はい」をクリックし、パソコンの再起動をします。

7.1.3 Windows2000 の場合

パソコンの電源を入れます。

電源を入れてからしばらくすると次のような画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



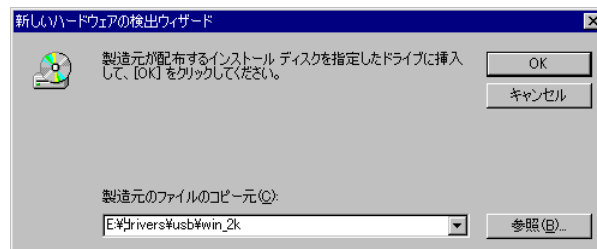
次の画面が表示されたら本商品に添付されている CD - ROM をパソコンに入れ、「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックし、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックします。



ドライバのあるディレクトリ：「CDドライブ名:¥PK-WL009¥Drivers ¥ Win_2000」を指定し、「OK」をクリックします。



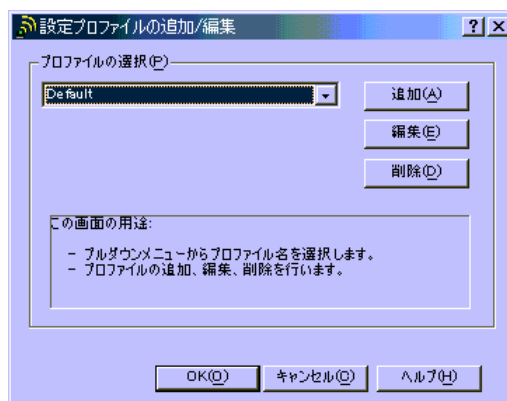
次の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら、「はい」をクリックします。



次の画面が表示されたら、「編集」をクリックして無線 LAN の設定を行います。設定を行うとこの画面に戻りますので「OK」をクリックします。設定については次項の「7.2 無線 LAN の設定」を参照してください。



インストール終了の画面が表示されたら「完了」をクリックします。

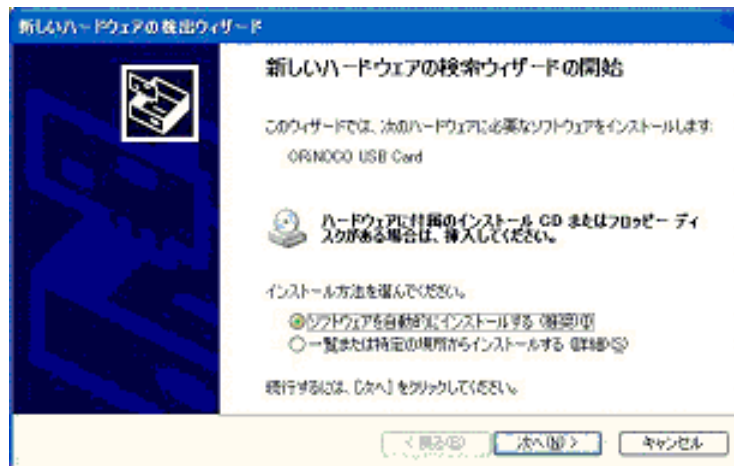
再起動の画面が表示されたら「はい」をクリックし、パソコンの再起動をします。

7.1.4 WindowsXP の場合

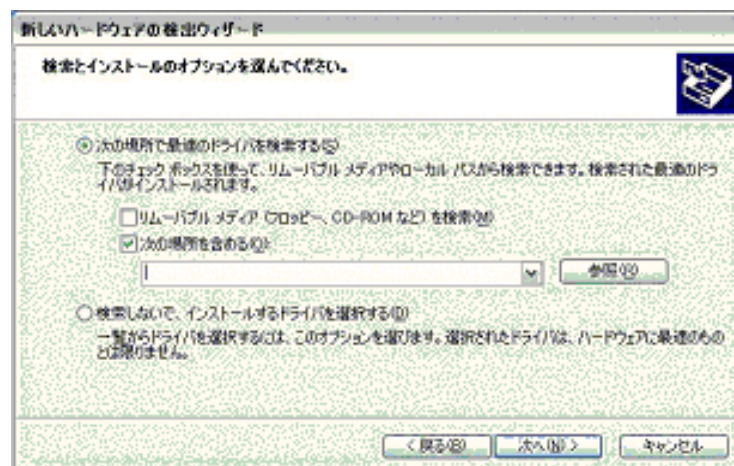
WindowsXP の場合は自身の OS に本商品の古いバージョンのドライバがインストールされています。本商品をパソコンに挿入し、パソコンの電源を入れると自動的にドライバが組み込まれます。組み込まれない場合は以下の手順でドライバのインストールを行ってください。自動的に組みこまれる場合は、11項を参照してアップデートを行ってください。

パソコンの電源を入れます。

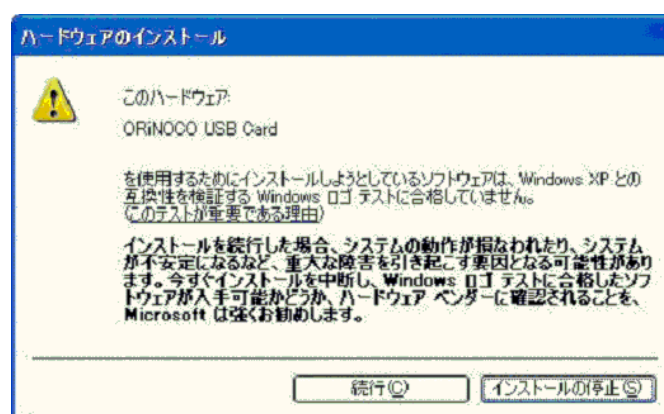
電源を入れてからしばらくすると次のような画面が表示されず。「ドライバの場所を指定する (詳しい知識がある方向け)」をチェックして「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら本商品に添付されている CD - ROM をパソコンに入れ、「参照」でドライバのあるディレクトリ：「CD ドライブ名:¥PK-WL009¥Drivers ¥ Win_XP」を指定する、または直接入力し「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら「続行」をクリックします。



次の画面が表示されたら、「詳細設定」をクリックして無線 LAN の設定を行います。設定については次項の「7.2 無線 LAN の設定」を参照してください。



インストール終了の画面が表示されたら「完了」をクリックします

7.2 無線 LAN の設定

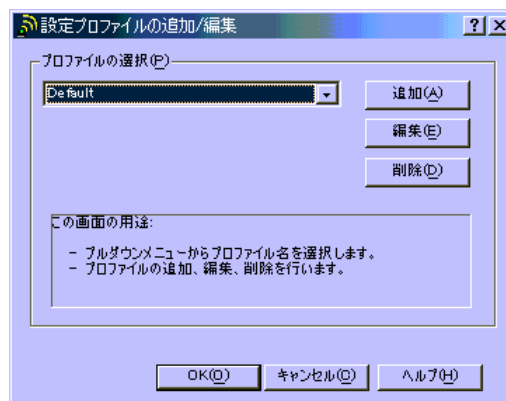
無線 LAN ネットワークへの接続を行うために、本商品の無線 LAN 設定を行います。

設定項目の中には接続先と同一にする必要がある項目もありますので、ネットワーク管理者または無線 LAN アクセスポイントのマニュアルを確認してから行ってください。

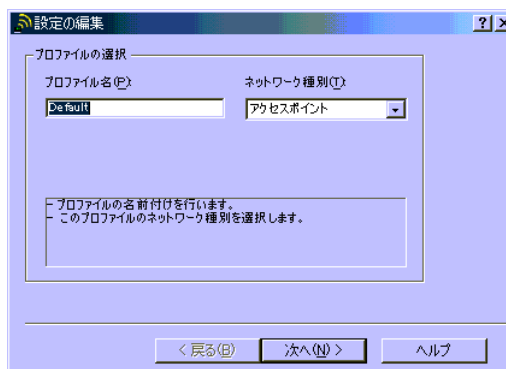
設定を行うための画面を開くには「コントロールパネル」の「Wireless Network」を実行するか、クライアント・マネージャで「アクション」 - 「設定プロファイルの追加/編集」から実行することができます。(WindowsXP は「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」からワイヤレス接続を選択しプロパティのワイヤレスネットワークタブより実行) また、ドライバのインストールの中でも設定することができます。

7.2.1 設定手順

無線 LAN の設定は接続先を変えて使用するときにはワンタッチで設定変更できるように設定内容を「プロファイル」として複数 (99 ファイルまで) 持つことができます。プロファイルを追加するときは「追加」をクリックし、またすでに作成済みのプロファイルを編集するときは「編集」をクリックして次へ進みます。

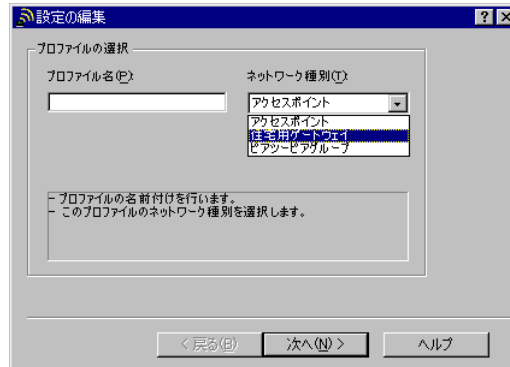


次に設定するプロファイル名に任意の文字等を入力します。

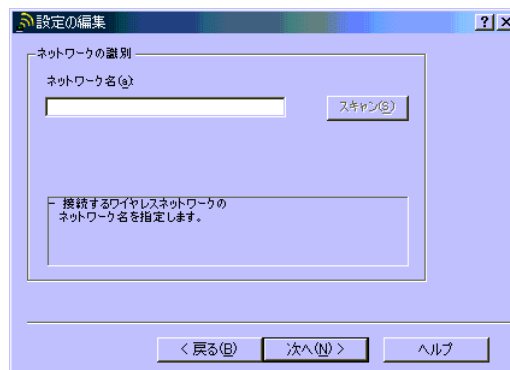


次に接続先を選択します。アクセスポイントに接続する場合は「ネ

「ネットワーク種別」で「アクセスポイント」を選択します。家庭用アクセスポイントに接続する場合は「住宅用ゲートウェイ」を選択し、パソコン同士で接続する場合は「ピアツーピアグループ」を選択し「次へ」をクリックします。



接続する無線LANネットワーク固有のネットワーク名 (SSID) を入力します。ネットワーク名は接続先の値と同一にする必要があります。ネットワーク名の値はネットワーク管理者または無線LANアクセスポイントのマニュアルを確認してください。また、セキュリティ設定 (無線データの暗号化や簡易接続拒否など) を行っていないアクセスポイントへの接続へは「ANY」または「(空白)」とするとネットワーク名を設定しなくても接続できます。



「ネットワーク種別」で「ピアツーピアグループ」を選択した場合はここで使用するチャンネルを設定します。この値は接続するパソコン同士が同じチャンネルに設定される必要があります。アクセスポイントへの接続時はパソコン側でのチャンネル設定はできません。この画面の設定が終了したら「次へ」をクリックします。



無線の盗聴を防止するためのセキュリティ設定で無線データを暗号化して送信します。接続する無線LANネットワーク固有の暗号化キーを入力します。暗号化キーは接続先の値と同一にする必要があります。暗号化キーの値はネットワーク管理者またはアクセスポイントのマニュアルを確認してください。

アクセスポイントに接続する場合は暗号化キーを最大4つまで入力でき、暗号化に使用するキーも個別に設定できます。

例)	アクセスポイントの設定	パソコンの設定
	キー : aaaaa	キー : aaaaa
	キー-2 : bbbbb	キー-2 : bbbbb
	キー-3 : ccccc	キー-3 : ccccc
	キー-4 : ddddd	キー-4 : ddddd
	使用するキー : キー-1	使用するキー : キー-4

(使用するキーの“キー-1”は値を入力するフィールドでは“キー”と表示されています。)

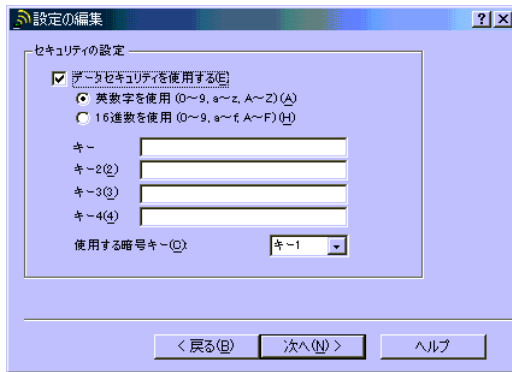
と設定させた場合は、アクセスポイントから送信されるデータは“aaaaa”で暗号化され、パソコンから送信されるデータは“bbbbbb”で暗号化されより高いセキュリティで通信することができます。また、定期的に暗号キーを変更することをお勧めします。

お互いのキーの値やキー配列は同一にする必要があります。

本商品の暗号化はWEP 40bit と 128bit に対応しています。英数字を使用する場合は「英数字を使用」を選択し、キーの欄に40bit の場合は5桁、128bit を使用する場合は13桁を入力します。16進数で入力する場合は「16進数を使用」を選択し、キーの欄に40bit の場合は10桁、128bit を使用する場合は26桁を入力します。

この画面の設定が終了したら「次へ」をクリックします。

この画面は「ネットワーク種別」の選択によって異なります。「住宅用ゲートウェイ」を選択した場合は40bit のみの入力となります。「住宅用ゲートウェイ」や「ピアツーピアグループ」での接続時には暗号キーは1つです。

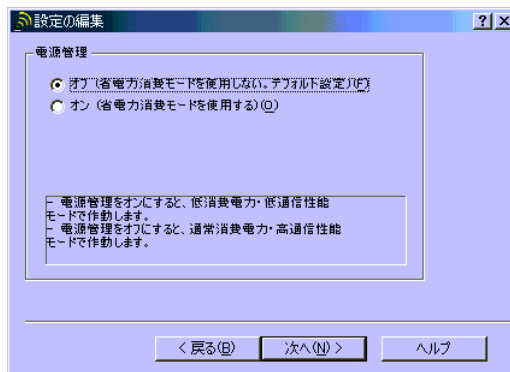


「アクセスポイント」の場合

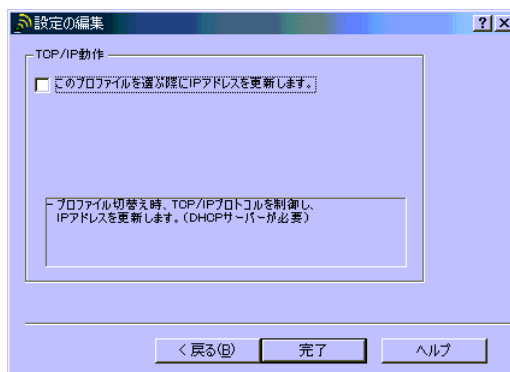


その他を選択した選択した場合
「住宅用ゲートウェイ」を選択した場合はネットワーク名の下5桁が自動的に入力されます。

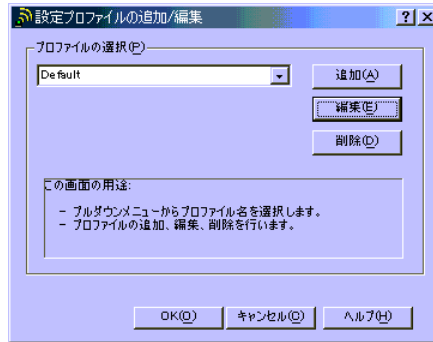
電源管理の設定をします。「オン」を選択すると無線LAN USB BOXは無線通信を行っていないときにパワーセーブを行い、パソコンの消費電力を抑えることができます。この画面の設定が終了したら「次へ」をクリックします。



このチェックボックスはパソコンのネットワーク設定で“IPアドレスを自動的に取得”となっている場合に有効です。選択するとプロファイルの変更を行うときにDHCPサーバから取得したIPアドレスを更新します。この画面の設定が終了したら「完了」をクリックします。

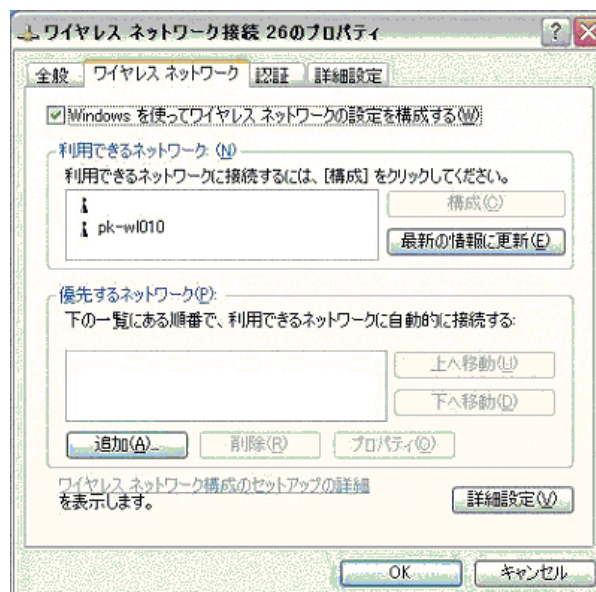


最初の画面に戻りますので「OK」をクリックし無線LANの設定が完了します。



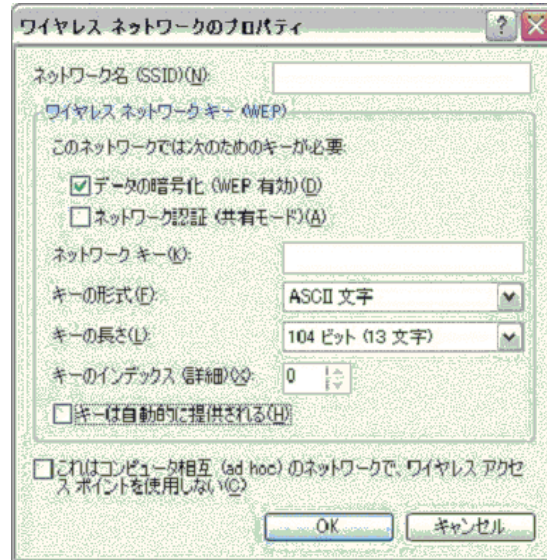
7.2.2 設定手順(WindowsXP の場合)

WindowsXP の場合、無線 LAN の設定は OS の「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」で設定します。アクセスポイントの設定で「Closed Wireless System」がチェックされていない場合は、アクセスポイントの電波が届く範囲内であれば「利用できるネットワーク」にアクセスポイントに設定されている「Network Name」(SSID)が表示されます。表示されている場合は、これをクリックしてから「構成」をクリックします。アクセスポイントの設定で「Closed Wireless System」がチェックされている場合は「優先するネットワーク」の追加をクリックしてください。



「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が表示されますので、「ネットワーク名 (SSID)」に接続するアクセスポイントに設定されている値と同じネットワーク名 (SSID) を入力します。前項で「構成」をクリックした場合は、ネットワーク名(SSID)は既に入力されています。次に無線上のデータを暗号化(アク

アクセスポイントで Encryption を有効) している場合は、「データの暗号化」をチェックし、「キーは自動的に提供される」のチェックを外して「ネットワークキー」にアクセスポイントに設定した値と同じキーを入力して OK をクリックします。



アクセスポイントの設定

キー : aaaaa
 キー 2 : bbbbb
 キー 3 : ccccc
 キー 4 : ddddd

パソコンの設定

キー 0 : aaaaa
 キー 1 : bbbbb
 キー 2 : ccccc
 キー 3 : ddddd

802.1x モードで接続する場合は、アクセスポイントから暗号キーが自動的に無線端末 (WindowsXP 無線 LAN パソコン) へ配信されますので、「キーは自動的に提供される」をチェックしてください。また、802.1x モードで接続する場合は「認証」タブの設定も必要です。詳しくは WindowsXP の説明書もしくはヘルプを参照してください。

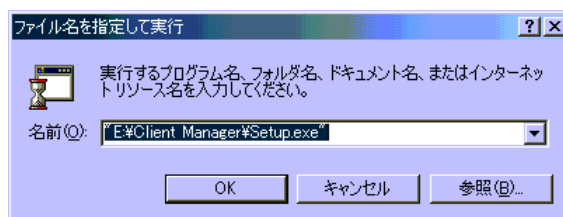
最初の画面に戻りますので「 OK 」をクリックし無線 LAN の設定が完了します。

8 クライアント・マネージャ

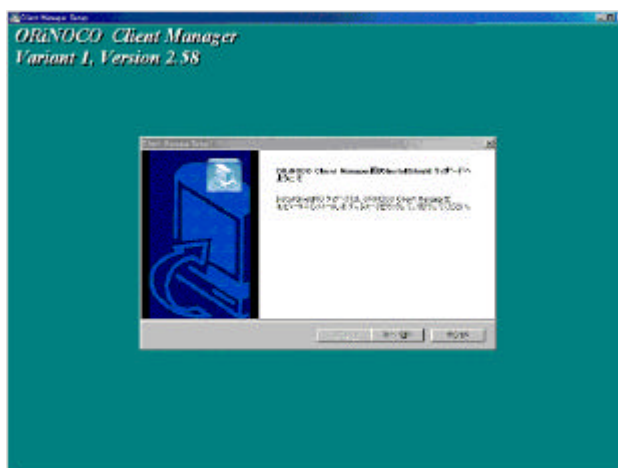
8.1 クライアント・マネージャのインストール

付属のCD-ROMをパソコンに入れます。

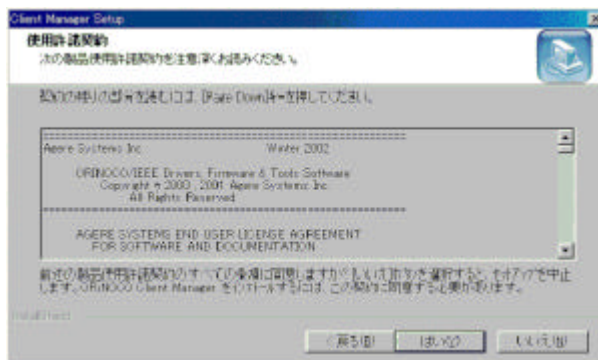
「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」で「参照」をクリックしてCD-ROMドライブの¥PK-WL009¥Utility ¥Client Manager ¥Setup.exe を選択、またはキーボード入力で“ CD-ROM ドライブ名: ¥PK-WL009¥Utility ¥Client Manager¥Setup.exe ”を指定し実行します。



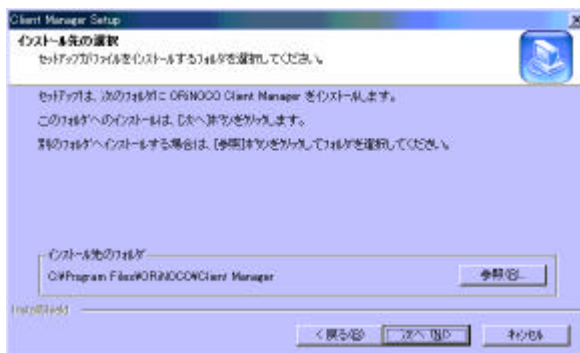
セットアップウィザードで実行されます。「次へ」をクリックします。



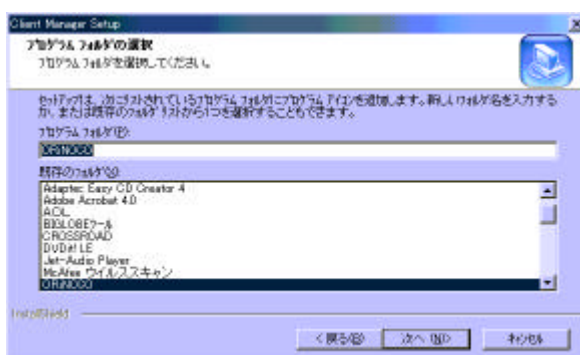
次の画面で内容をお読みの上「はい」をクリックします。



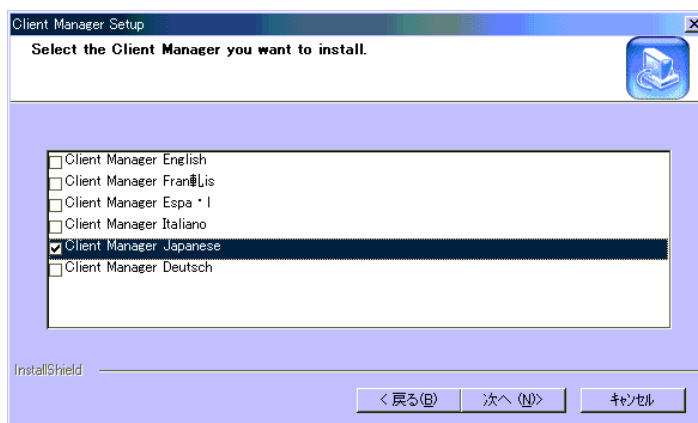
インストールするディレクトリを指定する場合は「参照」で指定してください。このままでよい場合はそのまま「次へ」をクリックします。



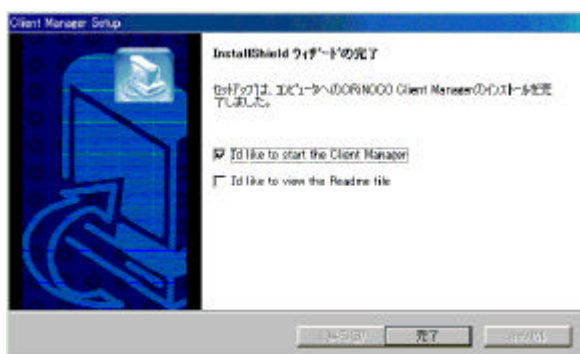
プログラムフォルダの選択を行います。このままでよい場合はそのまま「次へ」をクリックします。



クライアント・マネージャの表示を日本語にする場合は“Client Manager Japanese”を選択し「次へ」をクリックします。



最後に「完了」をクリックするとインストールが終了します。

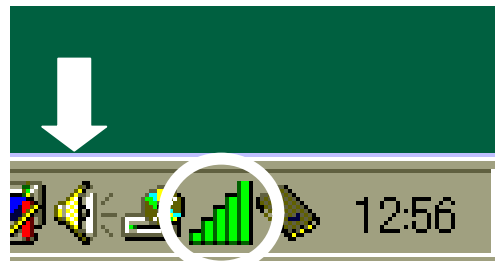


8.2 機能

クライアント・マネージャは無線の接続状態や通信品質をモニタできます。また、クライアント・マネージャから無線 LAN の設定を行ったり、プロファイルの選択を行うことができます。

クライアント・マネージャは Windows の「スタート」 - 「プログラム」 - 「ORiNOCO」の[Client Manager]から起動するか、タスクバーのアイコンをダブルクリック、または右クリックから実行できます。

クライアント・マネージャをインストールすると Windows のタスクバーに接続状態を色で示すアイコンが表示されます。パソコンを操作しながらいつも視覚的に確認できるため安心してご使用になれます。



アイコンは以下のように表示されます。



より良好な無線接続



非常に弱い無線接続



良好な無線接続



接続されていない



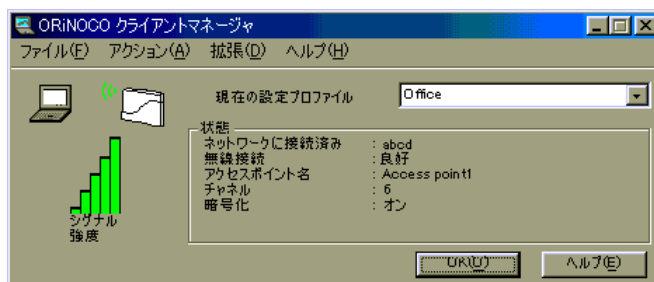
不安定な無線接続



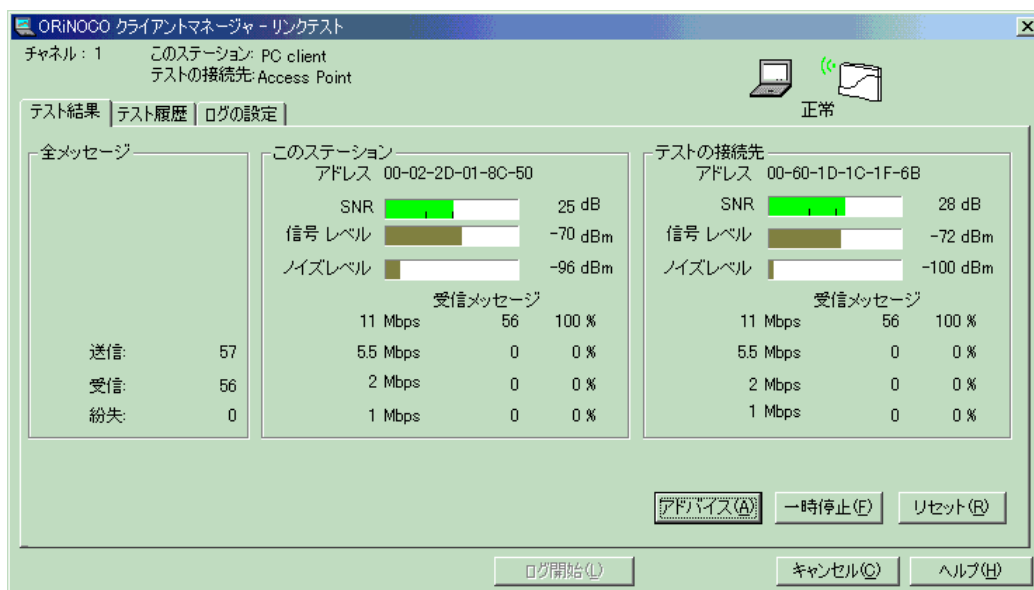
パソコンに接続されていない
またはドライバがインストール
されていない

**注意！ピアツーピアグループの
設定時この表示となる**

接続先と通信状態が表示されます。



通信速度や電波レベル、ノイズレベルを測定し通信品質判定することができます。



アクセスポイントや接続先のパソコンと通信状態を測定し表示します。

- ・パケットの損失を測定します。
- ・お互いの信号レベル（受信する相手の電波）を測定します。
- ・お互いのノイズレベルを測定します。
- ・お互いの通信速度を測定します。

なお、クライアント・マネージャの使用方法についてはクライアント・マネージャのヘルプをご覧ください。

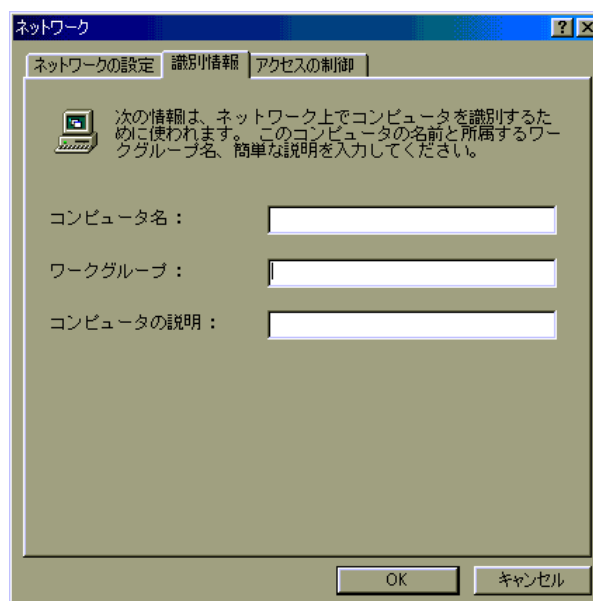
9 パソコンのネットワーク設定

ドライバおよびクライアント・マネージャのインストールが終了したら、次にパソコンのネットワークの設定を行います。

(ご使用のパソコンのOSによって多少設定方法がと異なります。詳しくはお使いのパソコンの取り扱い説明書をご覧ください。)

「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」から「ネットワーク」を実行します。

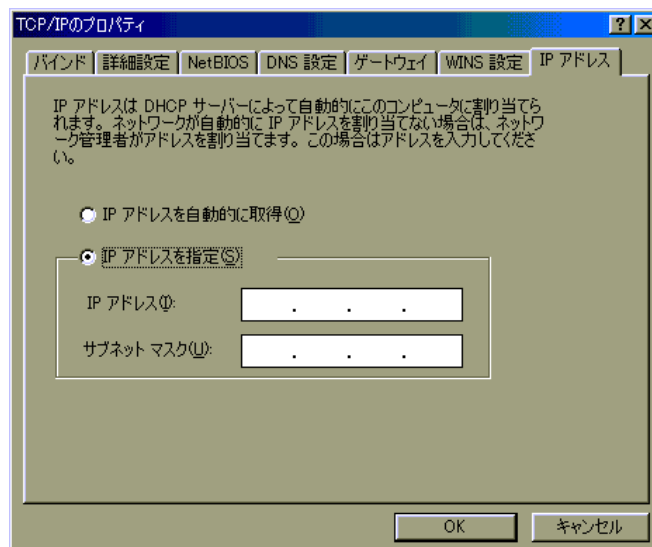
「識別情報」タブで「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力します。



「ネットワークの設定」タブで“ Microsoft ネットワーククライアント ”と“ Microsoft ネットワーク共有サービス ”、Microsoft “ TCP/IP ”を組み込みます。



TCP/IP の設定を行います。IP アドレスを DHCP サーバから自動的に取得する場合は「 IP アドレスを自動的に取得 」を選択します。 IP アドレスを個別に割り当てる場合は「 IP アドレスを指定 」を選択し “ IP アドレス ” と “ サブネットマスク ” を入力します。



10 確認

10.1 接続確認

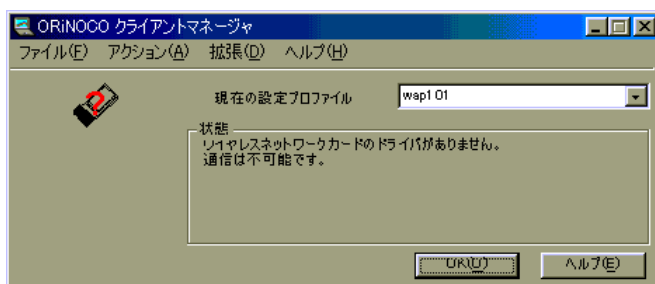
以上の設定が終了後、設定が正しく行われたかを確認します。

無線接続の確認

クライアント・マネージャを実行してドライバの組み込み、無線 LAN 設定および通信品質の確認を行います。

ドライバ確認

クライアント・マネージャを起動して「状態」を確認してください。ドライバが正しくインストールされていない場合は以下のように表示されます。この場合はドライバの再インストールを行ってください。



無線 LAN 設定および通信品質確認

クライアント・マネージャの「拡張」から「リンクテスト」を実行し以下を確認してください。

SNR が 15dB 以上 (推奨) であること

紛失が “0” または少ないこと

常時 1、2、または 5.5Mbps となっていないこと
注: 信号レベルが高くても環境により 5.5Mbps で通信する場合があります。

ご使用される環境により通信品質が異なります。これらのことをチェックした結果通信品質が悪い場合は、設置場所を移動するなどしてください。

ネットワーク設定およびアクセスポイントの確認

無線LANの設定が正しく行われてもネットワーク設定が正しく行われていない場合はネットワークに接続することができません。また、アクセスポイントに接続して使用する場合、アクセスポイントのセキュリティ機能で無線LAN端末のMACアドレスを登録しないと通信できない設定があります。この場合はアクセスポイントに登録する必要がありますのでネットワーク管理者または無線LANアクセスポイントのマニュアルを確認してください。

ネットワーク設定確認

アクセスポイント（または家庭用ゲートウェイ）に接続している場合

- ・ アクセスポイントに接続しているかクライアント・マネージャで確認してください。
- ・ アクセスポイントに「PING」を実行します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.
C:\>ping 10.10.10.10
Pinging 10.10.10.10 with 32 bytes of data:
Reply from 10.10.10.10: bytes=32 time=10ms TTL=64
Reply from 10.10.10.10: bytes=32 time=10ms TTL=64
Reply from 10.10.10.10: bytes=32 time=10ms TTL=64
Reply from 10.10.10.10: bytes=32 time=10ms TTL=64
Ping statistics for 10.10.10.10:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 10ms, Maximum = 10ms, Average = 10ms
C:\>
```

"PING"スペースのあとにIPアドレスを入力します。

"Reply"であれば接続しています

- ・ 「R e p l y」があればネットワーク設定は正しく設定されています。「R e p l y」がない場合はネットワークの再設定を行ってください。

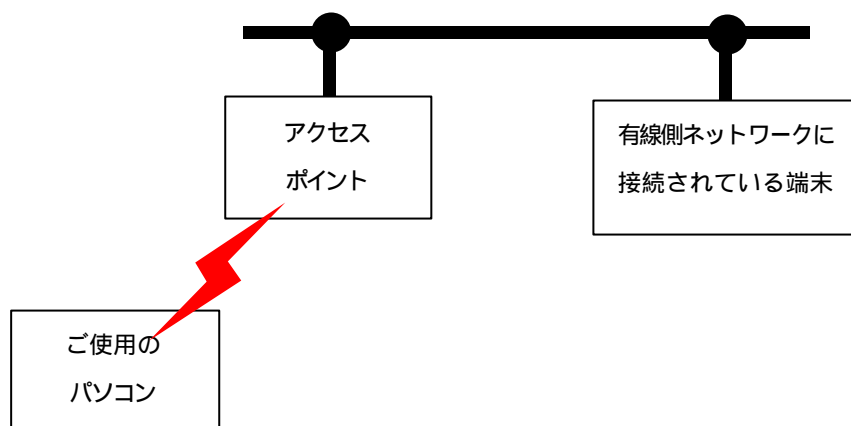
ピアツーピアで接続している場合

- ・ 他のパソコンに接続しているかクライアント・マネージャで確認してください。
- ・ 他のパソコンに「PING」を実行します。
- ・ 「R e p l y」があればネットワーク設定は正しく設定されています。「R e p l y」がない場合はネットワークの再設定を行

ってください。

アクセスポイントの確認

- ・ アクセスポイントに接続しているかクライアント・マネージャで確認してください。
- ・ アクセスポイントの有線側ネットワークに接続されている端末のIPアドレスを確認してください。



- ・ 有線側ネットワークに接続されている端末に「PING」を実行します。
「Reply」がない場合はネットワーク管理者または無線LANアクセスポイントのマニュアルを確認してください。

11 アップデート

ドライバ、ファームウェアおよびクライアント・マネージャは必要に応じてバージョンアップを行っております。最新情報は弊社ホームページで掲載しておりますので参照してください。また、本商品を以前に購入された方も最新のドライバまたはクライアント・マネージャにバージョンアップすることをお勧めいたします。

参照ページ

121ware.com のホームページ (NEC パーソナル商品総合情報サイト)

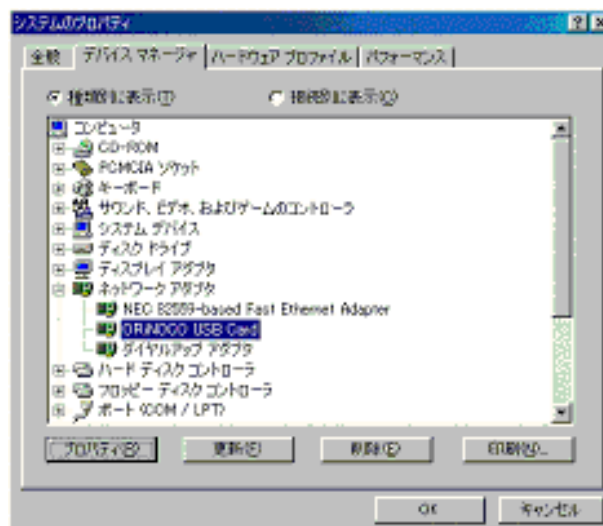
<http://121ware.com/>

NEC インフロンティアの無線 LAN 商品についてのホームページ

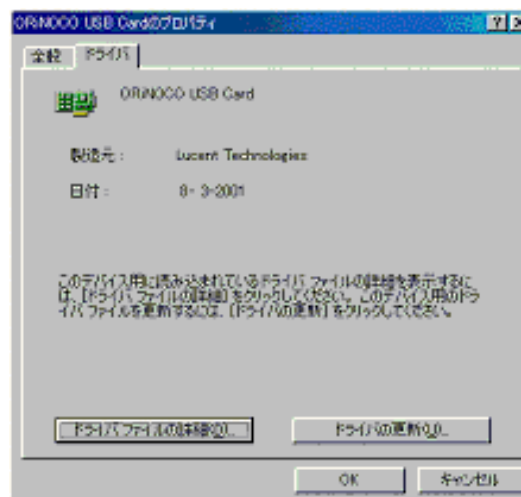
<http://www.necinfrontia.co.jp/products/wlan/jp/index.html>

11.1 ドライバのアップデート

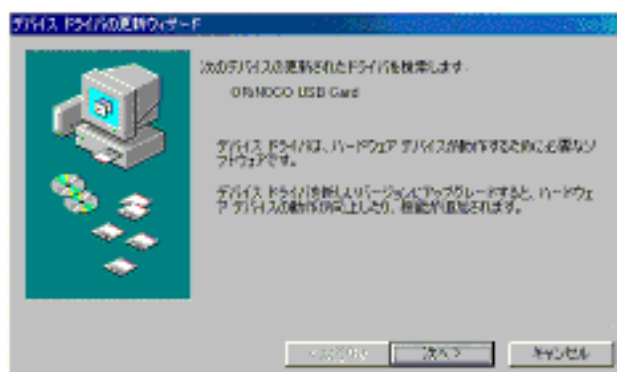
スタート - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「システム」の「デバイスマネージャ」(Windows2000/XP の場合は「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」)を起動してください。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックまたは左の[+]をクリックし「ORiNOCO USB Card」を選択し、「プロパティ」を選択してください。



「ORiNOCO USB Card のプロパティ」の「ドライバ」タブから「ドライバの更新」をクリックしてください。



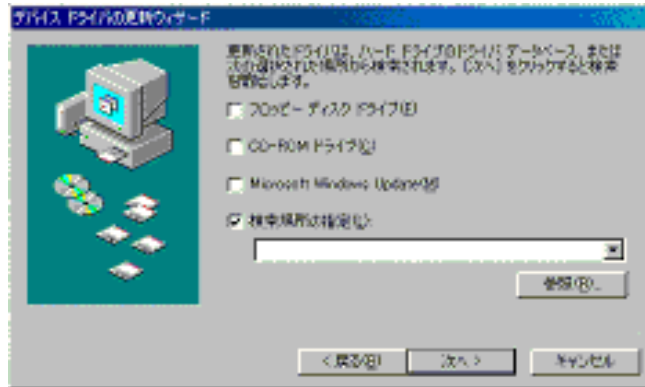
次の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら本商品に添付されている CD - ROM をパソコンに入れ、「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」をチェックし、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックします。



次の画面が表示されたら、ドライバのあるディレクトリ：「C Dドライブ名:¥PK-WL009 ¥Drivers ¥Win_98」を指定し、「OK」をクリックします。

ドライバの格納されているフォルダはOSにより異なります。WindowsMeの場合は「C Dドライブ名: ¥PK-WL009 ¥Drivers ¥Win_Me」、Windows2000の場合は「C Dドライブ名: ¥PK-WL009 ¥Drivers ¥Win_2000」、WindowsXPの場合は「C Dドライブ名: ¥PK-WL009 ¥Drivers ¥Win_XP」を指定します。

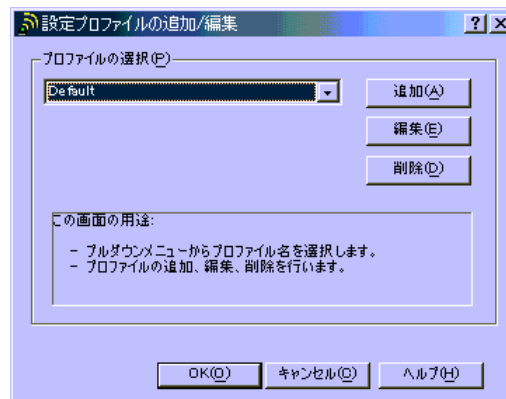


次の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



次の画面が表示されたら、「編集」をクリックして無線 LAN の

設定を行います。設定を行うとこの画面に戻りますので「OK」をクリックします。設定については次項の「7.2 無線LANの設定」を参照してください。



無線の設定が終了してしばらくすると、ドライバの更新が終了して次の画面が表示されます。「OK」をクリックし、終了します。



OSにより更新終了後に、Windowsの再起動を要求されますので、指示に従い再起動を行ってください。

11.2 ファームウェアのアップデート

無線LAN USB BOX本体のファームウェアドライバから自動的にアップデートされます。

最新ドライバでは、ドライバ自身に無線LAN USB BOXのファームウェアを持っており、ドライバから無線LAN USB BOXに自動的にファームウェアの書き込みを行います。したがって最新ドライバをインストールするとファームウェアの更新作業は不要となります。

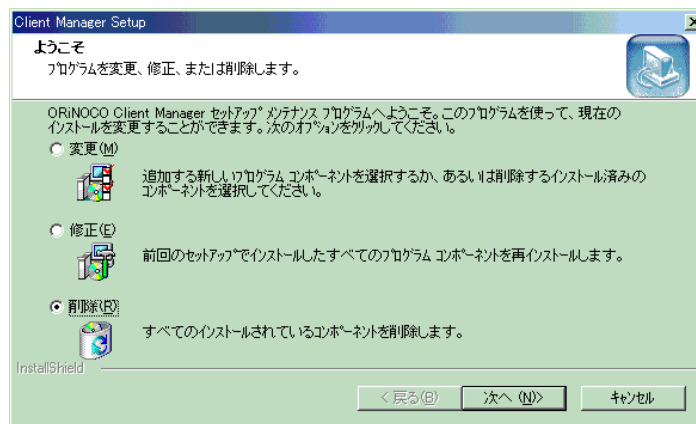
11.3 クライアント・マネージャのアップデート

クライアント・マネージャのアップデートは古いバージョンのクライアント・マネージャを削除してから、新しいバージョンをインストールしてください。

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を実行してください。

リストの中から「ORiNOCO Client Manager」を選択し、削除してください。

次の画面が表示されたら、「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。



ウェザードの指示に従って削除を行ってください。

削除ウィザードが終了したら、「アプリケーションの追加と削除」の画面で「閉じる」をクリックします。

新しいバージョンのクライアント・マネージャをインストールします。インストール方法は「8.1 クライアント・マネージャのインストール」を参照してインストールしてください。

NEC

© NEC Infrontia Corporation 2002

2002年6月 第3版

NECインフロンティア株式会社の許可無く複製・改変などを行なうことはできません。

853-840003-B